

単元のねらい

雨の降り方によって、流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解する。また、増水による災害を防ぐために、いくつかの工夫がなされていることに気づき、より効果的な災害対策を考えることができるようにする。

番組利用のねらい

本番組は、増水したときに、川が氾濫しないようにするための工夫について見るができるようになってきている。昔から川の水は生活の基盤になる一方で、増水時にはこう水がおこり、生活を脅かす存在にもなってきた。人々がこう水を防ぐために、どのような工夫を重ねてきたのかを知り、今後の工夫についても考えをもてるようにしていきたい。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次時	学習活動	教師の支援
第三次 6 こう水を防ぐ工夫	<p>こう水を防ぐために、人々はどのような工夫をしてきたのだろうか。</p> <p>○大雨などで川が増水したときに、こう水が起こらないようにするために、人々はどのような工夫をしてきたのか予想し、話し合う。</p> <p>◆「川とつきあう」番組視聴(10分)</p> <p>○番組を視聴する。</p> <p>○川が増水したときのせきの工夫を知る。</p> <p>○人工の川や河川敷などによるこう水を防ぐための工夫を知る。</p>	<p>◇川が氾濫している写真を用意して、このようなこう水を防ぐためにはどうすればよいか考えるきっかけにする。</p> <p>◇視聴後に、「こう水を防ぐための工夫はもっとないだろうか。」と投げかける。</p>
	<p>7</p> <p>調べ活動1</p> <p>○こう水を防ぐために、上流の環境作り、砂防ダムなど、様々な工夫があることを理解する。</p> <p>○こう水が起こりにくい理想の川を考えてみる。</p>	<p>■こう水を防ぐくふう</p> <p>■川岸の護岸</p> <p>■都心のこう水を防ぐくふう</p> <p>■こう水を防ぐダム</p> <p>■こう水を防ぐ森</p> <p>■こう水を防ぐたな田</p>
	<p>上流の自然を豊かにしたり、堤防、人工の川、河川敷を作ったりして、人々は洪水が起こることを防ぐように工夫してきた。</p>	